

FEL-TUS Chemical Physics Seminar



日時： 2019年1月15日(火) 10:30 ~ 12:00

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス 10号館 1012ゼミ室

講師：熊谷 崇 博士

(ドイツ フリッツ・ハーバー研究所 物理化学部門 グループリーダー)

題目：Physical Chemistry with Single Molecules

概要： 化学反応は熱、光（紫外・可視、赤外光等）、電気、力など様々な外部因子によって駆動される。物理化学は化学反応の素過程を理解し、定量的に扱う学問領域である。化学反応を単一分子レベルで調べる実験研究は分光学的手法によって行われてきたが、低温走査トンネル顕微鏡（STM）・原子間力顕微鏡（AFM）の登場により、単一分子の化学反応を「実空間」で直接観察・制御することが可能となった。本講演では水素結合ダイナミクスをSTM/AFMの先端計測技術を用いて調べる実験について我々の研究グループで得られた最近の成果について説明する。

事前登録は必要ありません。関連分野の学生・研究者の来聴を歓迎いたします。

世話人 化学科 渡辺量朗（内線 5757）・築山光一（内線 5729）